

武漢市の見本市への出展・商談・視察のご案内

大分市商工部商工労政課

◎2007年 武漢市の見本市

会名	第8回中国国際機電産品博覧会	第6回中国光谷・国際光電子博覧会 (OVC EXPO 2007)	第16回中国食品博覧会
日時	2007/9/23~26 (搬入・設置9/20~22)	2007/11/2~5	2007/12/12~16
場所	武漢国際会展センター	武漢科学技術展覧センター	武漢国際会展センター
主催	中華人民共和国商務部、中国国際貿易促進会、 山西省、湖南省、湖北省人民政府 他	中国情報産業商会、 国家光電子情報産業基地 他	中国商業連合会、州直食品工業協会、 湖北省人民政府、武漢市人民政府 他
概要	国務部他主催、国家級の大きな博覧会。2000年に第1回が開催され、今回8回目。累計での参加企業数は4500(国内外計)社、参加者は20余万人。今回の会場面積は4万㎡、約2000のブースを設置予定。	2002年に第1回が開催されて以来、回を重ねるごとに規模を拡大。政府関連機関の支持のもと、光電子情報技術を中心として電気通信産業の専門博覧会として、世界“四大”展覧会の1つとなることを目指している。会場面積15,000㎡、出展見込み企業・機関数約600、入場者見込み約30,000人。「光谷」は、武漢東湖新技術開発区(武漢ハイテク区)の中に設けられている、中国国務院が許可した最初の国家レベルハイテク産業開発区である。	中国国内で毎年500余の食品関係のイベントがある中でトップクラスの博覧会。1995年に武漢で始まり、毎年2回の開催。春は中国国内各地、冬は武漢市で行われる。会場のブース数1,000以上、参加企業1,000社近く、成約金額は毎回平均約900億円。2005年から“緑色食品”(有機食品、無農薬農作物などの事)の概念を取り入れ、国内の影響力をさらに拡大。
出展対象	工作機械・工具類、オートメーション器具・計器類、電機・電機工類、機械工業原料、自動車部品、建築工程機具、輸送設備、電化製品など	光ファイバ通信関連、レーザー関連、光学ディスプレイ関連、光学部品・光学素子関連、光学ドライブ・光学メモリ関連など	加工食品、農産物 など
参加企業	エマーソン、シーメンス、オムロン、三菱、NECなど	NTT、住友電気、パナソニック、NEC、日立など	ウォルマート、カルフルー、メトロなど
出展料	標準ブース：8000元(≒120,000円) フリースペース820元(≒12,300円)/㎡(36㎡から)	標準ブース：2,300USドル(ブース料、展示板三面分、日本語・英語表示板、照明、電源コンセント1式、床絨毯、椅子2脚、デスク1台の料金を含む) フリースペース230USドル/㎡(36㎡から)(出展参加リスト登録、24時間セキュリティサービス、清掃サービス料含む)	
備考		知財フォーラムも例年同時開催	全国緑色食品博覧会、中国食品製造業博覧会も例年同時開催

武漢市での見本市への出展支援

今年も、中国武漢市で9月に開催される「中国国際機電産品博覧会」外2つの見本市への出展および商談を希望される企業の方の参画を募っています。

地元企業皆様の技術力とアイデア、熱意が活かされる絶好の機会ですので、多くの企業の皆様のご参加をお待ちしています。詳しくは、大分市商工労政課へお問い合わせください。

申込問合せ先
大分市商工労政課 工業係 TEL 097-537-5625
H.Pアドレス <http://www.city.oita.oita.jp>>市政ガイド>ライフイベント 仕事